

2024

4

No. 733

國學院大學学報

「酒嗜む若き人に」
いにしへのおほき聖は、
酔ひ／＼て
多ひなきてこそ
心 澄みけれ
『春のことぶれ』
釈 道空

国学院大学 令和6年4月20日(土) 定期号(毎月20日発行) 1部20円
[発行] 国学院大学 [編集] 総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目10-28 [電話] 03(5466)0130 [FAX] 03(5466)0528

祭 儀 ■ 神殿鎮座記念祭 5月1日(水) 午前11時 仮殿



4・5面に関連記事

桜の花びらを踊らせる春の風に背中を押され、今年も新入生たちが国学院大学の門をくぐった。

入学後のオリエンテーションを終え、いよいよ学生生活がはじまった。この学報がお手元に届くのは、2回目の授業が終わったところだ。入学して間もなく1カ月を迎える新入生の皆さんは、この数週間でのどのような感想をもっただろうか。すでに友人もでき、部活やサークルにも加入して楽しんでいる学生もいるだろう。将来の夢や目標に向けて、最初の一步を踏み出した学生もいるだろう。あるいは、環境の変化に慣れず、少し疲れ気味という学生もいるかもしれない。

大学での学修は、高校までの教科書を中心とした授業と大きく異なる。学修だけでなく、学生生活そのものの自由度も高い。どのように学修を進めていけばよいのか分からないという不安を感じていたり、教員免許や司書、学芸員などの資格取得を目指すかどうかを迷っている学生もいるかもしれない。部活やサークルに加入しようか考えていたり、留学を検討している学生もいるだろう。

そんな時は、ぜひ教職員に気軽に相談してみよう。渋谷キャンパス、たまプラーザキャンパスともに、学修について教員と相談できるオフィスアワーという時間が設けられている。リポート作成のポイントを学ぶ講座が開催されたりと皆さんの学生生活をサポートするための制度やさまざまな窓口が設けられている。

今回の特集では、新入生に向けて両キャンパスのマップとともに、一部ではあるが学生サポートを行うオフィスなどを紹介する。何か相談事などがあった際には、ぜひ訪れてほしい。

令和6年度 学部・専攻科・別科入学式



未知の課題に挑む学びへ歩み出す

国学院大学の令和6年度入学式が4月2日、グランドプリンスホテル新高輪(東京都港区)で3部に分かれて挙行された。6学部と神道学専攻科、別科神道専修の新入生2669人が開花したばかりの桜に迎えられようとして、新たな学びへの第一歩を踏み出した。

し、日本人の独自性を自覚するといった建学の精神に基づく教育・研究の基本方針は現代社会にあってますます有意義だと論じた。3月12日に地球に帰還した宇宙飛行士の古川聡さんが「宇宙医学」という未知の分野に挑戦している例を挙げ、「自らの心の内に醸成してきた学びへの思いや、大学生活への期待の内実を問いかけて、あらたな学びに取り組み、探究しはじめてみてほしい」と語りかけた。2面に要旨別掲。

在学生の父母らで組織する若木育成会の森伸一会長による祝辞の後、矢部健太郎・文学部長、星野広和・経済学部長、菊田真司・法学部長、黒崎浩行・神道文化学部長、太田直之・人間開発学部長、西村幸夫・観光まちづくり学部長が大学での学修の意義について説いた。続いて新入生代表による「宣誓」が行われ、夢をかなえる学びへの気概とともに、サークル活動などを通じて新しい仲間作りに向けた期待と決意を口々に述べた。昨年度まで新型コロナウイルスへの感染対策として制限がなされていたが、今年度は家族2人までの参列が可能となった。また国歌や校歌の斉唱時にもマスク着用が求められなくなり、新しい「学び舎」の校歌を期待を込めて口ずさむ新入生の顔が見られた。

〔2面に関連記事〕

みはるかすもの

人はいさ心も知らずふるさは花ぞ昔の香にほひける(紀貫之)

花々が咲き乱れ、さまざまな「匂い」が鼻腔をくすぐる春。花粉症の人にはつらいが、他なる存在を嗅覚経由で感じ取れる、そんなシーズンなのかもしれない▼社会学者の真木悠介(見田宗介)は「自我の起源」(岩波現代文庫)の中で、フェロモンなどの化学物質を論じながら、以下のように「匂い」によるエクスタシーを語った。「森や草原やコミュニケーションや都市の空間でわれわれの身体が体験しているあの形状することのできない泡立ち(中略)他なるものたちの磁場に作用され、呼びかけられ、誘惑

され、浸透されてあることの戦慄の如きものである」▼真木がこう書いた85年前に、ゲオルク・ジンメルは『社会学』下巻(居安正訳、白水社)で嗅覚を「社会解体的な感覚」と断じた。ジンメルはこう言う。「特徴的なのは、ニーチェのような狂信的に排他的な個人主義の人物が、彼にとって憎むべき人間類型について異様なほどしばしば『彼は良い匂いがしない』と言っていることである」。人の「匂い」にウツと息をこめた経験は、誰しもあるはずだ▼近年、使用者にとっては安らぐ柔軟剤や合成洗剤の香りが、周囲の人間にとって「香害」となることが取り沙汰されている。人を世界に結び付けもし、逆に人と人の関係に亀裂を入れさえする、そんな「匂い」のことを考えながら、ざわめく季節の中で深呼吸してみたらどうだろう。

主な内容 2面/令和6年度 学部・専攻科・別科入学式 3面/令和5年度 学部・専攻科・別科卒業式・修了式
4・5面/あなたの「したい」に応えます 学生サポートキャンパスガイド 6面/令和6年度 予算成立 7面/新任専任教職員紹介

最終面から K:DNA I面/柔道部 オーストリア グランプリ大会 羽田野選手が初優勝

令和6年度 学部・専攻科・別科入学式



新入生「なりたい自分」へ
期待胸に踏み出す一歩

令和6年度の6学部、神道学専攻科、別科神道専修の入学式が4月2日、グランドプリンスホテル新高輪「飛天」(東京都港区)で挙行された。全学応援団が入り口付近で団旗を掲げ、吹奏楽部や管弦楽団、青葉雅楽会の演奏に迎えられ、会場は新入生とその家族でぎっしりと埋まった。式典開始前にはフォイエル・コイル混声合唱団による「校歌指導」が行われた。スーツ姿の新入生はなかなか慣れない様子だったが、間もなく、自分たちの歌になることだろう。式典は学部ごとに3回に分けて挙行された。学長告辞の後、若木育成会の森伸一会長は新しい環境に戸惑いがちな新入生を「学生生活をとにかく楽しんでほしい」と励まし、「学生生活に慣れ、余裕が生まれてからで構わない。将来どのような道に進むかを考えてもらいたい」と期待を込めた。次いで、星野広和・経済学部長、西村幸夫・観光まちづくり学部長、矢部健太郎・文学部長、黒崎浩行・神道文学部部長、荻田真司・法学部部長、太田直之・人間開発学部長が、それぞれの学問分野の視点から高校までの「勉強」とは違う大学の「学修」へといざない、歓迎の言葉を述べた。新入生代表の宣誓では小澤玲奈さん(経営)が新型コロナウイルスが世界の激変を招いたことから経済のメカニズムを深く知りたいと考えを述べたことをはじめ、石川倫子さん(観まち)、大野莉歩さん(外文)、後藤美奈江さん(神文)、大野未遥さん(法)、木村日和さん(子支)がそれぞれ学部代表として力強く決意を述べた。

会場周辺は家族と喜びを分かち合う場面であふれた。岩波佑奈さん(経)は「世界がどう動いているのか経済を通じて知りたい」と抱負を語った。西山人生さん(観まち)は「車がなくても成り立つ地方交通の在り方を考えたい」と意欲的だ。同じ志を持つ多くの人と意見を交わしたいと望むのは大沼知佳さん(哲)。品村緋美さん(神文)は実家の神社を継ぐという確かな目標を掲げる。身体の動きを学びたいという東前晴貴さん(健体)。刑事訴訟法に興味があると語る菅原想太さん(法)は「剣道部に入り、文武両道で頑張りたい」と頼もしいげだった。

針本学長告辞(要旨)

「学びの道」をともに歩いていこう

大学は教員が学生へ一方的に知識を伝達する場ではない。これまでの「知」に挑み、今までのない「知」の構築、獲得を目指す場だ。与えられた課題を思考し、学友と時間をかけて学び合ってほしい。その中で学友の存在のかけがえのなさを実感し、課題の本質が少しずつ暴かれ、自身の意見も深まる。

国学者の本居宣長は先生や誰かに教えられて学びを始めるのではなく、自分の心に何を知りたいのかと問いかけ、自らの思いに身を委ねることが大事だと説いた。現代社会にあてはめれば、これまでの「知」や人工知能(AI)の回答を安易に受け入れず、自身で収集した資料を基にあらためて問い直す主体的な学びを志すことが大事である。

人間は学び続けることで無限の可能性が立ち現れる。入学は生涯続く新たな学びの始まりであり、すべての新入生が持っている豊穡で輝く力を紡ぎ出す契機となる。ともに学びの道を歩いていこう。



卒業奉告祭・入学奉告祭を斎行

国学院大学は、3月19日に卒業奉告祭(斎主＝星野光樹神道文化学部准教授・神殿奉斎員)を、4月1日に入学奉告祭(斎主＝同)を国学院大学渋谷キャンパスで斎行した。

卒業奉告祭は、佐柳正三理事長、針本正行学長をはじめ役教職員らが参列。斎主の祝詞奏上では、法人傘下各校の卒業・修了・卒園者の今後の活躍を祈念し、卒業生が雅楽を奏した。

入学奉告祭は、佐柳理事長、針本学長ら役教職員に加えて新入生代表も参列し、法人傘下各校の学生・生徒・園児らの勉学隆昌を祈念し玉串を神前に捧げ拝礼した。

神殿造替工事に伴う
地鎮祭を斎行



学校法人国学院大学は創立140周年記念事業の一環として、渋谷キャンパスの神域に明治神宮より譲り受けた仮殿の材を用いて新たな神殿を造営するとともに神域の整備を行う。着工を前に神殿造替に伴う地鎮祭が4月8日に斎行され、佐柳正三理事長、針本正行学長をはじめ、法人・大学・法人傘下各校の役教職員と施工企業の関係者らが参列した。斎主が工事の安全と造替が無事に終わることを祈り、祝詞を奏上するとともに、神殿敷地を清め祓った。

神殿は令和7年度に竣功する予定である。これまでの神殿はたまプラーザキャンパスへの移築と歴史的建造物としての保存が行われる。

ポーラ伝統文化振興財団と
連携協定

国学院大学(学長・針本正行)と公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団(理事長・小西尚子)は3月7日、寄附講座の実施や人材育成に関する分野で連携、協力することに合意し、基本協定を締結した。寄附講座の名称は「日本文化を知る(文化芸術振興論)」となり、社会のさまざまな文化・芸術、その周辺の現状を多角的に学び、理解し、尊重することを目的としている。

令和6年度 入学者数

4月1日現在、国学院大学の学部、大学院、専攻科、別科の入学者数は次の通り。

- ◎**大学院**◆博士前期課程◇文学研究科79人▷神道学・宗教学専攻15人▷文学専攻30人▷史学専攻34人◇法学研究科▷法律学専攻3人◇経済学研究科▷経済学専攻13人◆博士後期課程◇文学研究科15人▷神道学・宗教学専攻3人▷文学専攻6人▷史学専攻6人◇法学研究科▷法律学専攻2人◇経済学研究科▷経済学専攻0人(大学院合計112人)
- ◎**学部**◆文学部695人▷哲学科73人▷史学科187人▷日本文学科246人▷中国文学科58人▷外国語文化学科131人◆経済学部538人▷経済学科275人▷経営学科263人◆法学部▷法律学科555人▷法律専攻446人▷法律専門職専攻46人▷政治専攻63人◆神道文化学部▷神道文化学科177人◆人間開発学部369人▷初等教育学科105人▷健康体育学科152人▷子ども支援学科112人◆観光まちづくり学部▷観光まちづくり学科313人(学部合計2647人)
- ◎**専攻科**▷神道学専攻科神道学専攻19人(専攻科合計19人)
- ◎**別科**▷神道専修Ⅰ類0人▷神道専修Ⅱ類3人(別科合計3人)
- 【総計2781人】**

大学院入学式

112人が研究者生活スタート



国学院大学大学院の入学式が4月1日、渋谷キャンパス百周年記念館記念講堂で挙行された。当日は、役教職員や父母らが見守る中、112人の新入生が参列し研究者としての第一歩を踏み出した。

告辞に立った針本正行学長は「人文社会学研究は、汎用型人工知能(AI)といかに対峙するかという問題がつきつづられ、人間の『知』の営み、人間の内実が問われている。近世の国学者たちは、『万葉集』や『古事記』といった古典を通して日本を考えた。情報技術革新により、資料の入手は容易になったが、皆さんにはAIの活用だけでなく、現物・原典資料を基にした分析・検証という『実感、実証の学問』を実践

してほしい。先学の研究成果に敬意を払いつつも、時にあらがい、自らの見解を提示することを目指したい」と呼びかけた。

続いて、佐藤長門・大学院委員長は「皇典講究所初代所長の山田顯義(あきよし)氏は、松下村塾に満13歳で入塾したが、性質愚鈍などと評された。だが、元服に際し吉田松陰から贈られた、『100年も一瞬のこと。無駄な時間を過ごさないように』という趣旨の言葉を胸に勉学に励み、初代司法大臣となり、国学院を設立した。努力の持つ可能性に驚くとともに、興味・関心と教育の合致による相乗効果を認めるところだ。皆さんを全力でサポートするので、ともに学ぼう。皆さんの精進に期待している」と激励の言葉を贈った。

これを受け、新入生を代表して倉林直紀さん(博後法Ⅱ写真左)は「文系学問は社会を作る学問だ。人類の価値観や作り上げた社会がいかに遷移し、現在に至ったかを明らかにすることで、未来に向け、人類はどう生きるべきか、いかに社会を作るべきか」の指針を示すことができる。研究分野や対象は異なれど、研究者としての自覚と学問への矜持を持ち、研究に尽力することを誓う」と述べ、大学院での飛躍を誓った。

院友神職会から寄付目録贈呈



卒業生神職によって組織される国学院大学院友神職会から、研究振興などを目的として本学へ寄付が贈られた。3月29日に目録贈呈式が行われ、松山文彦・同会会長（昭43修・76期神専攻、東京大神宮宮司）から、針本正行学長に目録が手渡された＝写真。

令和5年度 卒業・修了生数が確定

令和5年度の卒業・修了生数が確定した。所属別の人数は次の通り。

- ◎**大学院**◆博士前期課程修了◇文学研究科52人▷神道学・宗教学専攻8人▷文学専攻20人▷史学専攻24人◇法学研究科▷法律学専攻9人◇経済学研究科▷経済学専攻9人◆博士後期課程修了◇文学研究科9人▷神道学・宗教学専攻2人▷文学専攻6人▷史学専攻1人◇法学研究科▷法律学専攻0人◇経済学研究科▷経済学専攻0人◆博士後期課程所定単位修得退学◇文学研究科15人▷神道学・宗教学専攻2人▷文学専攻7人▷史学専攻6人◇法学研究科▷法律学専攻1人◇経済学研究科▷経済学専攻0人（大学院合計95人）
- ◎**学部**（9月卒業含む）◆文学部808人▷哲学科72人▷史学科244人▷日本文学科305人▷中国語文化学科60人▷外国語文化学科127人◆経済学部510人▷経済学科244人▷経済ネットワーク学科15人▷経営学科251人◆法学部▷法律学科465人▷法律専攻378人（3年時卒業3人を含む）▷法律専門職専攻37人（同5人を含む）▷政治専攻50人（同2人を含む）◆神道文化学部▷神道文化学科190人◆人間開発学部353人▷初等教育学科112人▷健康体育学科142人▷子ども支援学科99人（学部合計2326人）
- ◎**専攻科**▷神道学専攻科神道学専攻29人（専攻科合計29人）
- ◎**別科**▷神道専修Ⅰ類1人▷神道専修Ⅱ類7人（別科合計8人）
- 【総計2458人】**

令和6年度

卒業式・学位記授与式 日程変更

国学院大学学報729号の「令和6年度 学年暦が決定」記事の記載内容より、令和6年度の学年暦が一部変更となりましたので次の通りお知らせいたします。

最新の学年暦は本学HPでご確認ください。

対象	行事	変更前	変更後
学部 学年暦	卒業式	令和7年 3月20日(木・祝)	令和7年 3月23日(日)
大学院 学年暦	学位記 授与式	令和7年 3月19日(水)	令和7年 3月22日(土)

派遣研究員の期間延長

国学院大学における派遣研究員の派遣期間延長が決まった。氏名・研究課題・派遣先・派遣期間は次の通り。

- ◆**国外派遣研究員**（期間延長）◇法学部▶佐古田真紀子教授▷民事紛争処理に関する理論的研究▷ハンブルク大学（ドイツ）▷令和6年10月1日～7年3月31日

宮崎莊平・元文学部教授 逝去

国学院大学元文学部教授の宮崎莊平氏が3月26日に逝去。91歳。

宮崎氏は昭和8年生まれ。32年国学院大学文学部卒業、44年東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。藤女子大学教授、新潟大学教授などを経て、平成7年国学院大学文学部教授。15年定年退職。

専門は国文学。博士（文学）。著書に『歌集 歩み来し方』（新典社）、『女流日記文学論輯』（新典社）などがある。

令和5年度 学部・専攻科・別科卒業式・修了式

災禍を乗り越え成長できた4年間



国学院大学の令和5年度第132回卒業式が3月20日、グランドプリンスホテル新高輪「飛天」で佐柳正三理事長、針本正行学長ら役教職員と卒業生、家族が参列して挙行された。学部の卒業生と神道学

専攻科・別科神道専修の修了生2363人は、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行したことに伴って4年ぶりに式典参列が再開した家族のみなさしを背負い、大学生活の思い出をかみしめなが

ら、学び舎を巣立った。

式典は午前が経済、法、人間開発の3学部、午後が文、神道文化の2学部、専攻科、別科の2部制で行われ、針本学長が各学部の総代に卒業証書・学位記を、専攻科・別科の修了生総代に修了証書を授与した。

令和5年度の卒業生は新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令下にオンラインで大学の学びをスタートさせた学年に当たる。針本学長は式辞の中で「新しい授業形態に柔軟に対応し、課外活動にも積極的に取り組まれた」と述べ、未体験の困難を克服した努力をたたえた**要旨別掲**。

国学院大学院友会の吉田茂穂会長の祝辞に続き、星野広和・経済学部長、菊田真司・法学部長、太田直之・人間開発学部長、矢部健太郎・文学部長、黒崎浩行・神道文化学部長が学問分野に即した「卒業生に贈る言葉」で前途を祝福。卒業生総代として人間開発学部の堀日南さん（健体）、神道文化学部の石橋葵さんが答辞を述べ、それぞれコロナ禍でも学びを継続できたことに感謝を表した。また式典後には本学客員教授でシンガポール・ソングライターのさだま



さし氏**写真右**がサプライズ登壇。なじみの名曲とユーモアを交えた心温まるトークで家族を含め会場を大いに沸かせた。その後、それぞれのキャンパスに移動し、卒業証書・学位記、修了証書を受け取り、学部ごとの卒業祝賀会に臨んだ。

鳥羽みゆさん（経営）は「ゼミでリポートなどの文書作成指導を徹底して受けたことが仕事に役立つ」と振り返った。ニューヨークに1年間留学した小野菜奈さん（法）は「移民問題など世界の常識を学問として学べたのが大きい」と述べた。また千田幸美さん（外文）は「論文などを通じて考える力がついた。実社会では人に言われた仕事をするだけでなく、自分で考えて取り組んでいきたい」と将来を見据えた。

針本学長式辞（要旨）

「知」の獲得に挑み、輝く未来へ

人工知能（AI）の活用によって社会課題の解決や新たな価値の創造が可能だと言われる。私たちは日々の学修や日常生活においてもAIに對峙していく中で回答を判断するための事前準備が必要だ。この過程が主体的な学びを志し、課題への思考を深める契機となる。人間が思考を停止しない限り、AIの存在は人間の内にある豊かな可能性を呼び起こすものとなるだろう。

皆さんはコロナ禍を経て、自ら考え行動することにより、変化の激しい時代を生き抜く力を養った。これから歩む道で、与えられた課題の解決にたどり着けるのかと不安を抱くこともある。しかし、経験したことのない学びに取り組み、仲間と学び合った学生生活は、一人ひとりの心の内に課題解決の道へ導く「力」を紡ぎ出し、自己実現を果たす礎となっている。大学での学びをもとに、今までにない「知」の獲得に挑み、輝く未来をひらかれることを期待する。

大学院学位記授与式

針本学長「真理の探究目指し、志を」



令和5年度の大学院学位記授与式が3月19日、渋谷キャンパス常磐松ホールで挙行され、佐柳正三理事長、針本正行学長、佐藤長門・大学院委員長（文学部教授）をはじめ、役教職員と修了生らが参列した。

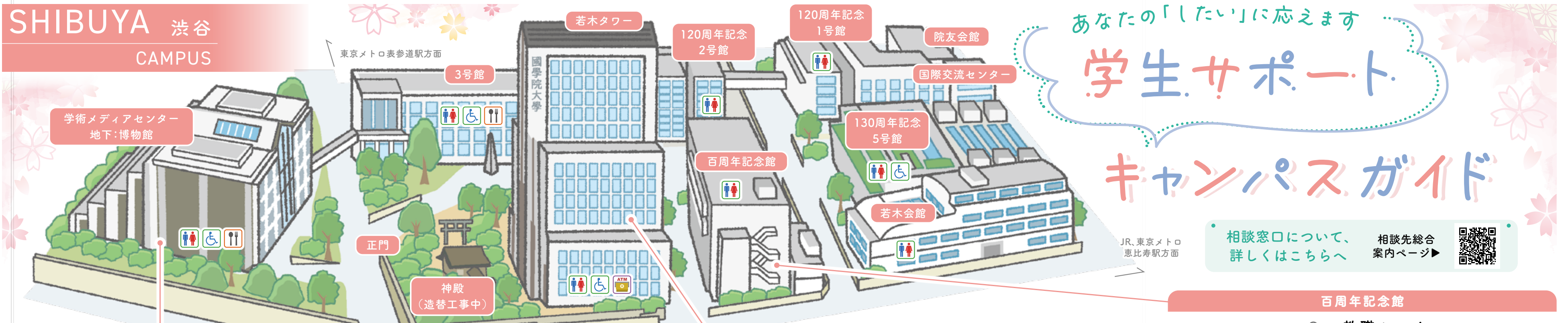
今年度は、博士後期課程（博士学位授与）9人、博士前期課程（修士学位授与）70人が修了し、16人が所定単位修得退学となった。

はじめに博士学位授与者9人を紹介した後、針本学長より修士学位記を授与した**写真**。続いて、修士学位記授与が行われ、文学研究科は佐藤委員長（兼文学研究科委員長）、法学研究科は一木孝之・同科委員長（法学部教授）、経済学研究科は細井長・同科委員長（経済学部教授）から各研究科の代表学生へ学位記を授与した。

式辞に立った針本学長は「今後も真理の探究を目指し、高き志を抱いてほしい。大学院での学びをもとに、自らの研究や仕事に関わる課題の本質を問い、それぞれの道での確かな足跡を残されることを期待する」と今後の活躍に期待を寄せた。佐藤委員長は「皆さんがどのような職業に就いたとしても、大学院での各分野の学びを生かし、等身大の日本を発信していくってほしい。皆さんの活躍を期待している」と修了生たちを激励した。

修了生を代表し、博士前期課程の菊池圭祐さん（文学研究科）は「社会に目を向ければ、解決すべき課題は山積している。大きな問題に対し、私たちのできることは小さいかもしれない。だが、本学大学院で研究に打ち込んだ日々から、小さな努力の蓄積が大きな未来の成果になることを私たちは知っている。この金科玉条を胸に、今後の一層の努力と躍進を誓う」と答辞に決意を込めた。

式典の終了後、修了生らは専攻・コースごとに分かれ学位記を受け取り、恩師や友人らと思い出話に花を咲かせるなど、母校での最後のひと時を過ごした。

SHIBUYA 渋谷
CAMPUS

学術メディアセンター/博物館

日本文化をより深く知りたい

博物館

地下1階

考古、神道、校史の三つの展示ゾーンと毎回異なるテーマの企画展示室で構成。本物の土器・土偶や神道資料から日本文化の心を学ぶことができる。オンラインミュージアムでは研究者による展示解説なども行っている。



文献資料を探したい

図書館

2-3階

160万冊を超える蔵書を有し、グループ学習で利用可能な空間も。所蔵資料は同館システムから検索可能。各種オンラインデータベース、貴重資料の一部を公開したデジタルライブラリーも提供。



ひと息つきたい 自習したいときはこちら /

学術メディアセンター
1階

カフェラウンジ「若木が丘」



多目的ホール

1号館

学修や就職、心の相談…困りごとがあればこちらへ

たまプラーザ事務課

1階

教務・教職相談 就職相談 学生相談室 など

人間開発、観光まちづくり学部生の大学生活全般から学修、就職までサポート。横断的な支援とアットホームな雰囲気も特長だ。学生相談室は本キャンパスにも設けられている。

証明書自動発行機
もあります

学生相談室

担当者から

●教務・教職担当

人間開発学部は教員や保育士などをめざす学生が多いため、履修だけでなく実習のサポートもしています。開設3年目の観光まちづくり学部は話を聞ける先輩がまだ少ないので、不安なことは何でも相談してください。

●就職担当

就活の早期化で低学年からサポートしていますが、皆さんには大学時代にしかできない経験、自由な時間も大切にしたいですね。キャンパスの学生の印象は「明るく、楽しく、誠実」。充実した大学生活になるよう支援します。

●学生相談室

悩みは人を成長させる「種」にもなります。学生相談室は安心して話せる場所です。皆さんの悩みや困りごとを、大事に聴かせていただきます。

総合学修館(6号館)

海外留学への挑戦を支援

国際交流課

1階

留学の計画からビザ取得、海外生活への不安、ゼミや就活との両立といった悩みに対応。外国人留学生と交流する学内イベントも開催し、国際感覚の成長もサポート。



担当者から

海外留学は日本ではできない経験をしたり、異なる文化と触れ合うチャンス。私も9年前に米国からの交換留学生として国学院大学で1年間学びました。自分にリミットを設けず、思い切って挑戦して視野を広げてください。

必要書類を手早く受け取りたいときは /
証明書自動発行機

若木タワー1、2階

在学証明書や成績証明書、健康診断証明書や学割などの発行に加え、学内で行われる有料資格講座の費用納付などが可能。

若木タワー

学生生活の悩み、困りごとを相談したい



学生相談室

3階



やりたいことが見つからない、サークル内や友人との人間関係で困っている…多岐な悩みを臨床心理士などと一緒に解決方法を探る。ヨガ体験なども開催。予約申し込みはフォームでも可。

担当者から

新しい環境に適応できずに悩むのは心が健康な証拠でもあります。こんなことで相談していいのかな、と思わずに相談にいらしてください。一緒に解決方法を考えます。「性格検査」もできるのでぜひ気軽にお越しください。

大学4年間でサポートする総合窓口



学生生活課

3階



学内外の奨学金紹介、部会・サークル活動支援、アルバイトなど大学生活全般に対応。学生間トラブルや悪徳商法の被害などは学生相談室や専門機関と連携し解決を支援する。

担当者から

トラブルはないのが一番ですが、大学4年間はさまざまなことが起きます。「自分一人で解決できる」と思って初期対応が遅れるケースもあります。分からないこと、困ったことがあったらまずは「ここ」に来てください。

授業の登録や資格課程の疑問なら



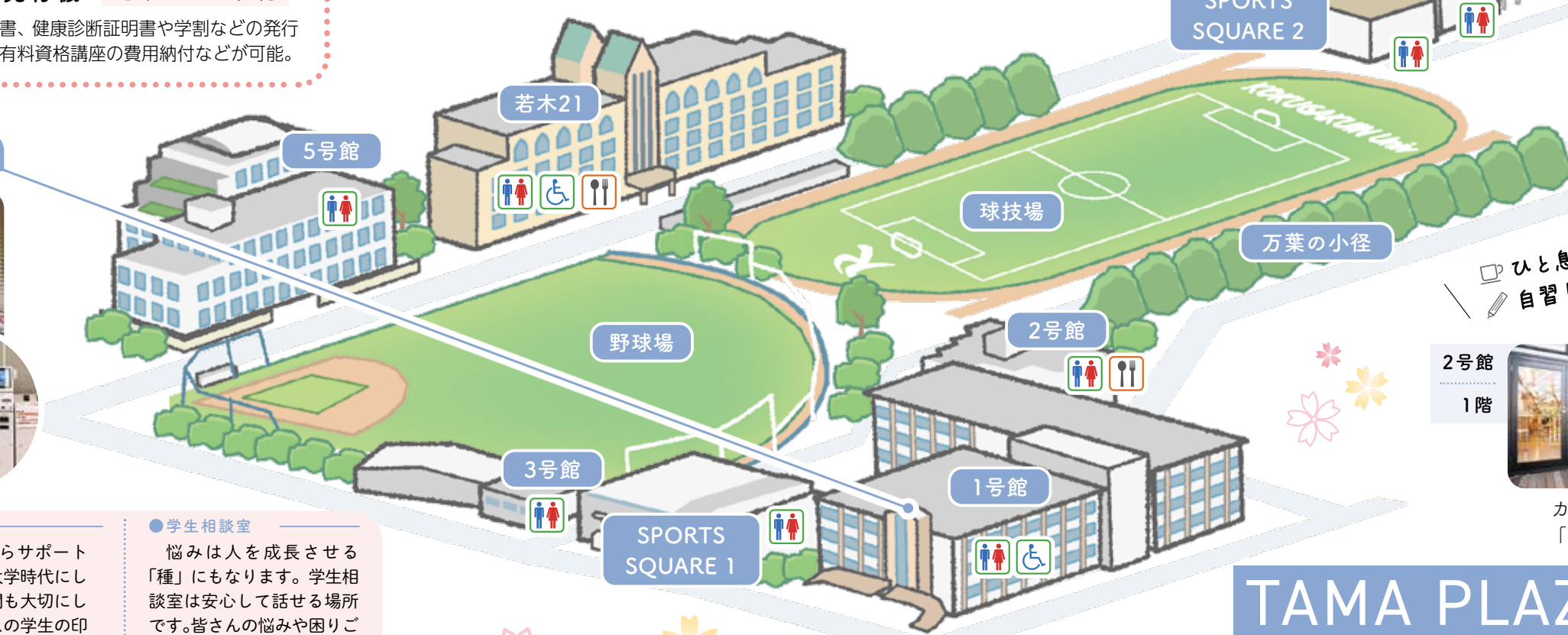
教務課

2階

新学期前後の履修登録の相談をはじめ、資格課程など、授業や学修に関する全般的な内容に対応。内容に応じて学修支援センターなどと連携して支援する。

担当者から

大学では、自分でどんな学修をしたいかを考えた上で、定められた要件を満たしながら授業を登録していきます。高校とは大きく異なるので、はじめのうちは不安が大きいと思います。まずは気軽に相談に来てください。

TAMA PLAZA たまプラーザ
CAMPUS

令和6年度 予算成立

資金収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：百万円)

収入の部			
科 目	予算	前年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	14,953	14,542	411
手数料収入	728	728	0
寄付金収入	389	362	27
補助金収入	2,749	2,784	△35
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	213	229	△16
受取利息・配当金収入	178	188	△10
雑収入	312	312	0
借入金等収入	501	501	0
前受金収入	2,717	2,705	12
その他の収入	1,678	1,762	△84
資金収入調整勘定	△3,112	△3,087	△25
当年度収入合計	21,306	21,026	280
前年度繰越支払資金	8,128	9,548	△1,420
収入の部合計	29,434	30,574	△1,140

支出の部			
科 目	予算	前年度予算	増減
人件費支出	10,427	10,313	114
教育研究経費支出	4,676	5,106	△430
管理経費支出	1,344	1,416	△72
借入金等利息支出	7	7	0
借入金等返済支出	546	545	1
施設関係支出	1,336	643	693
設備関係支出	419	401	18
資産運用支出	2,416	3,556	△1,140
その他の支出	318	514	△196
予備費	294	294	0
資金支出調整勘定	△319	△349	30
当年度支出合計	21,464	22,446	△982
翌年度繰越支払資金	7,970	8,128	△158
支出の部合計	29,434	30,574	△1,140

事業活動収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：百万円)

		科 目	予算	前年度予算	増減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	14,953	14,542	411
		手数料	728	728	0
		寄付金	355	328	27
		経常費等補助金	2,719	2,767	△48
		付随事業収入	163	179	△16
		雑収入	312	312	0
		教育活動収入計	19,230	18,856	374
	事業活動支出の部	人件費	10,535	10,177	358
		教育研究経費	6,410	6,845	△435
		管理経費	1,454	1,529	△75
教育活動支出計		18,399	18,551	△152	
教育活動収支差額			831	305	526
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	178	188	△10
		その他の教育活動外収入	50	50	0
		教育活動外収入計	228	238	△10
	事業活動支出の部	借入金等利息	7	7	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	7	7	0
教育活動外収支差額			221	231	△10
経常収支差額			1,052	536	516

		科 目	予算	前年度予算	増減
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		雑収入	0	0	0
		その他の特別収入	75	62	13
		特別収入計	75	62	13
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	4	△4
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	4	△4
	特別収支差額		75	58	17
予備費】		294	294	0	
基本金組入前当年度収支差額		833	300	533	
基本金組入額合計※		△1,866	△1,336	△530	
当年度収支差額		△1,033	△1,036	3	
前年度繰越収支差額		△10,810	△9,774		
基本金取崩額		0	0		
翌年度繰越収支差額		△11,843	△10,810		
参考)					
事業活動収入計		19,533	19,155	378	
事業活動支出計		18,700	18,855	△155	
■ 第1号基本金…17億6,600万円 教育の質向上のために取得した固定資産の価格					
■ 第2号基本金…1億円 教育の質向上のために将来取得する固定資産取得に充てるもの					

※■ 第1号基本金…17億6,600万円
教育の質向上のために取得した固定資産の価格
■ 第2号基本金…1億円
教育の質向上のために将来取得する固定資産取得に充てるもの

法人の主な役教職員人事

学校法人国学院大学の主な役教職員人事は次の通り。

退任

◎国学院大学附属幼稚園▼園長▼中村佳代子
◎国学院幼稚園▼園長▼黒澤聡子
(以上、令和6年3月31日付)

委嘱

◎国学院大学附属幼稚園▼園長▼小林育代
◎国学院幼稚園▼園長▼黒澤聡子
(以上、令和6年4月1日付)

大学の主な役教職員人事

国学院大学の役教職員人事で、役職者における異動・新任・退職者など主なものは次の通り。

役職者

※は再任

◎学部◆観光まちづくり学部▼学部長▼西村幸夫※▼副学部長▼梅川智也※(以上、任期2年)
◎専攻科長▼松本久史(任期1年)
◎学則委員長▼高内寿夫※(任期2年)

昇格異動等

【教員】

◎文学部▼教授▼橋本貴朗▼服部比呂美▼笠間直穂▼藤野敬介▼岡本源太▼小手川正二郎
◎経済学部▼准教授▼辻和洋
◎神道文化学部▼教授▼小林宣彦▼准教授▼大道晴香▼柏木亨介
◎人間開発学部▼教授▼長田恵理▼川田裕樹▼備前嘉文▼青木康太郎▼山瀬範子▼吉永安里▼准教授▼町田樹

【大学事務局】

◎神道研修事務部◆次長(神道研修事務部長兼務)▼大久保規志(同課長)
◎総務部◆部長▼法務担当(総務課長兼務)▼安西晴美(同総務担当次長・同課長兼務)
◎総合企画部◆次長▼企画担当(企画課長兼務)▼藤井哲彦(同課長)
◎財務部◆部長▼経理担当(経理課長兼務)▼村越美里(同経理担当次長・同課長兼務)▼管財担当▼細島洋紀(同次長・管財課長兼務)◆課長▼管財課▼吉井浩久(同課長補佐)
◎教学事務部◆部長▼松本忠和(同次長・教務課長兼務)◆次長▼教育開発推進機構担当▼前田浩司(学生事務部学生生活担当次長・学生生活課長兼務)◆課長▼教務課▼織田泰輔(同課長補佐)
◎学生事務部◆部長▼人見剛(総合企画部エクステンション事業担当次長・エクステンション事業課長兼務)▼キャリアサポート担当▼木村都(同キャリアサポート担当次長・キャリアサポート課長兼務)◆課長▼学生生活課▼内田宣央(同課長補佐)▼キャリアサポート課▼古澤

学部 成績優秀者奨学制度を改正

学部学科間の格差の縮小、優秀者は授業料の半額に統一

国学院大学では、「成績優秀者奨学制度規程」を定めて、成績優秀者に対して授業料相当額や一部金額を支給する制度を運用している。改正前の規程では、成績最優秀者は授業料相当額を、その他の優秀者にはGPA (Grade Point Average) 値を審査対象として、30万円または15万円の支給を行っていたが、学部学科により成績評価において偏りが生じていることや、最優秀者と優秀者の支給金額にも大きな乖離があるなど、支給状況に格差が生じていた。

今回、規程を一部改正することで学部学科間、さらには最優秀者と優秀者の格差を縮小する制度に改めた。新たな制度の施行は令和6年4月1日からで、在学している全学年の学部生に適用される。制度の詳細は、本学HPまたは学生生活課・たまプラーザ事務課で確認を。

	改正後		改正前	
	基準	支給金額	基準	支給金額
最優秀者	GPA3.8以上	授業料相当額(※1)	GPA3.8以上	授業料相当額
優秀者	GPA3.8未満	授業料半額(※2)	GPA3.5以上	30万円
			GPA3.5未満	15万円

※1 授業料相当額は、文・法・経済・神道文化学部では76万円。人間開発・観光まちづくり学部では80万円。
※2 授業料半額は、文・法・経済・神道文化学部では38万円。人間開発・観光まちづくり学部では40万円。

繁(たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課長)

◎国際交流事務部◆部長(国際交流課長兼務)▼石山昭彦(同部長)

◎学術メディアセンター事務部◆部長▼鶴澤英子(総合企画部入学担当次長)◆次

長▼図書館担当次長・図書館事務課長(たまプラーザ担当)兼務)◆課長▼研究開発推進機構事務課▼佐野真之(同課長補佐)▼図書館事務課▼藤巻園子(同課長補佐)▼図書館事務課(たまプラーザ担当)▼生形恭子(同図書館事務課長)

◎たまプラーザ事務部◆次長▼キャリアサポート担当▼原田佳昌(教学事務部教育開発推進機構担当次長)▼研究支援担当▼飯塚陽子(学術メディアセンター事務部研究開発推進機構担当次長・研究開発推進機構事務課長兼務)

移籍・任用形態変更

◎教育開発推進機構▼助教▼内村慶士(特別専任から変更)

新任

※は再任 期間延長

◎文学部▼教授▼山本哲也▼准教授▼安西晋二▼助手▼松本耕作
◎経済学部▼教授▼林行成▼准教授▼濱田高彰

◎法学部▼専任講師▼小川亮

◎人間開発学部▼准教授▼三田大樹▼助手

▼鈴木弓

◎研究開発推進機構▼特別招聘教授(研究開発推進機構長付)▼ジョルダン・サンド※▼助教(特別専任)▼半田竜介※▼助教▼吉永博彰※

◎客員教授▼嵐山光三郎▼岩下尚史▼北澤豪▼久保田るり子▼さだまさし▼東儀秀樹▼平林岳▼松平定知▼後藤靖子(客員教授任期1年)

◎客員教授▼久保田るり子▼さだまさし▼東儀秀樹▼平林岳▼松平定知▼後藤靖子(客員教授任期1年)

【大学事務局】

◎専任▼総合企画部入学課▼岡部結菜▼財務部経理課▼小野寺なな▼財務部管財課▼菅原小太郎▼学生事務部学生生活課▼出光実▼たまプラーザ事務部たまプラーザ事務課▼堀内駿(以上、試用期間)

◎総合企画部企画課書記▼渡辺優里▼教学事務部教務課書記▼蒲生多美子▼学生事務部学生生活課保健室(保健師)▼大森ユカ▼国際交流事務部国際交流課書記▼ムリロイ・サン▼学術メディアセンター事務局研究開発推進機構事務課(博物館学芸員)▼尾上周平

◎嘱託▼教学事務部教務課▼鈴木知里(以上、令和6年4月1日付)

退職

◆自己都合
◎教学事務部教務課◆書記▼久保田涼介(令和6年4月30日付)
◎国際交流事務部国際交流課◆書記補▼麻生航太(令和5年12月31日付)

新任専任教職員紹介

文学部

◆教授

山本哲也 (やまもと・てつや)

①国学院大学文学部史学科卒業。国学院大学助手、新潟県立歴史博物館などを経て現職。

②多様な役割を求められるようになってきた博物館ですが、これまで23年間の学芸員経験を存分に生かし、まずは博物館を楽しんでもらいつつ、諸課題に向き合える学芸員をこの国学院大学から送り出せればと思います。

◆准教授

安西晋二 (あんざい・しんじ)

①国学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。本学兼任講師などを経て現職。

②近現代日本文学が専門です。特に、戦後以降から現在に至るまでの小説を研究してきました。学生の皆さんには、授業を通じて現代小説のおもしろさと難しさを伝え、ともに学んでいく楽しさを実感してもらえよう努めていきたいと思っています。

◆助手

松本耕作 (まつもと・こうさく)

①国学院大学大学院博士後期課程単位取得退学。立川市史編さん事業調査員などを経て現職。

②専門は縄文時代の考古学で、縄文土器から当時の社会に関する情報を読み取る研究をしています。学生さんと年齢の近い教員として、皆さんの学習に寄り添いながら考古学の魅力を発信していきたいと思っています。

経済学部

◆教授

林行成 (はやし・ゆきなり)

①一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。広島国際大学教授などを経て現職。

②専門は医療経済学です。人口の減少と高齢化が進む中での持続可能な医療制度の設計を、経済学的視点から研究しています。学生の皆さんと一緒に、未来の日本社会の在り方を考えていきたいと思っています。

◆准教授

濱田高彰 (はまだ・たかあき)

①東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。

②ゲーム理論や行動経済学という分野で研究をしています。こ

れらの分野を学ぶことで、身近な人間行動やさまざまな社会現象の仕組みを考える力を養うことができます。学生の皆さんに多くの学びを提供できるよう、精いっぱい努めてまいります。

法学部

◆専任講師

小川亮 (おがわ・りょう)

①東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻修了。博士(法学)。東京都立大学法学部助教などを経て現職。

②憲法学を専門としています。特に、哲学を使って憲法学の議論を問いなおす研究をしています。こう言うと難しく聞こえますが、要は、ちゃんと考えるとどうなるか？を積み重ねているだけです。学生の皆さんと、「ちゃんと考えること」の面白さを共有するべく努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

人間開発学部

◆准教授

三田大樹 (みた・ひろき)

①東京学芸大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了。修士(教育学)。東京都の小学校教員、副校長、西東京市教育委員会統括指導主事、主任指導主事を経て現職。

②学校現場のリアルを踏まえながら、これから期待される教師のイメージを皆さんと一緒に明らかにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

◆助手

鈴木弓 (すずき・ゆみ)

①国学院大学幼児教育専門学校卒業。専攻科を修了し、保育園と幼稚園に計10年勤務。

②子育て、専業主婦も経験。子ども、母、保育者の気持ちに寄り添ってくれる保育者が多くなることを願っています。私の経験したさまざまな立場の気持ちや大変さ、楽しさ、喜びなどを伝えられたらと思います。よろしくお願いいたします。

大学事務局

◆総合企画部企画課書記

渡辺優里 (わたなべ・ゆり)

①ELCジャパン株式会社(現合同会社)を退職後、本学嘱託職員を経て現職。

②歴史と伝統のある国学院大学

今年度4月、本学に着任した専任の教職員18人のプロフィールを紹介する。

丸数字は①略歴②抱負。

で引き続き働けること、大変光栄に存じます。どんな仕事をする上でも思いやりの心を忘れずに、皆さまとともに、日々成長できるよう努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

◆教学事務部教務課書記

蒲生多美子 (がもう・たみこ)

①大妻女子大学社会情報学部卒業。本学嘱託職員を経て現職。

②今回、ご縁があり国学院大学で勤務させていただけることに感謝しております。他業種での勤務経験を生かせるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

◆学生事務部学生生活課保健室(保健師)

大森ユカ (おおもり・ゆか)

①平成17(2005)年国学院大学保健室退職後、特別養護老人ホーム、グループホーム等の勤務を経て現職。

②19年前に一度退きましたが、再び本学に奉職できることに縁を感じるとともに、大変うれしく思っております。今まで得たさまざまな経験を生かし、新たな挑戦をしながら、熱意を持って保健師としての職務に取り組みたいと思います。

◆国際交流事務部国際交流課書記

ムリロ イーサン

①株式会社NOVAでの英会話講師のほか、さまざまな民間企業での勤務の後、本学嘱託職員を経て現職。

②より多くの留学生を受け入れる体制を整え、日本人学生が参加しやすいような留学関連イベントを企画することで、より多くの学生に国際的な経験をさせ、視野を広げるチャンスを提供したいです。

◆学術メディアセンター事務部

研究開発推進機構事務課(博物館学芸員)

尾上周平 (おのえ・しゅうへい)

①国学院大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学。川崎市教育委員会、国学院大学博物館嘱託学芸員を経て現職。

②国学院大学の歴史を尊重し、本学ワングル部や考古学研究室で培った経験も生かして、日本文化を考究し発信する拠点である本学の更なる発展に精進します。よろしくお願いいたします。

◆総合企画部入課(試用期間)

岡部結菜 (おかべ・ゆいな)

①令和6年3月国学院大学経済学部卒業。

②母校である国学院大学で職員として働く

ことができることを大変うれしく思っております。国学院大学のさらなる発展に貢献することができるよう日々精進していく所存です。何事にも真摯に向き合い取り組んでまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◆財務部経理課(試用期間)

小野寺なな (おのでら・なな)

①令和6年3月日本女子大学人間社会学部卒業。

②歴史ある国学院大学の一員として歩みを始められることを非常に喜ばしく思います。チャレンジ精神を持ち、積極的に行動できる職員を目指します。周りの方々への感謝を忘れずに日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

◆財務部管財課(試用期間)

菅原小太郎 (すがわら・こたろう)

①令和6年3月国学院大学文学部卒業。

②自身の母校でもある国学院大学へ奉職できる喜びと同時に、大変身の引き締まる思いです。一つ一つのことを丁寧に、また新人らしいはつらつさを持って本学の更なる発展に尽力いたします。何卒よろしくお願いいたします。

◆学生事務部学生生活課(試用期間)

出光実 (いでみつ・みのり)

①令和6年3月国学院大学経済学部卒業。

②私は国学院大学久我山高등학교から本学に進学しました。母校である本学で働けるうれしさを胸に、1日でも早く一人前の職員になれるよう、自分から積極的に行動することを心がけ、努力してまいります。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

◆たまプラーザ事務部

たまプラーザ事務課(試用期間)

堀内駿 (ほりうち・しゅん)

①令和6年3月国学院大学経済学部卒業。

②学生時代にお世話になった国学院大学に奉職できることを大変光栄に思います。自分が関わる全ての方に対して誠実な対応ができる職員を目指します。初心を忘れることなく、日々精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

インフォダイジェスト

	…在学生		…保証人		…卒業生		…一般		…受験生
内容	日にち	時間	場所	対象	定員	料金	申込み	問い合わせ	

大学からのお知らせ

令和6年度学費等納付金について

令和6年度学費等納付金(前期)口座振替日は、6月26日(水)です。詳細は4月下旬に、保証人(大学院生は本人)へお送りした「学費等納付金に関する通知」や本学HPをご確認ください。

☎▶経理課(☎03・5466・0115)

▶学生生活課(☎03・5466・0145)

▶たまプラーザ事務課(☎045・904・7700)

▶大学院事務課(☎03・5466・0142)

健康診断の結果および健康診断証明書の発行について

今年度の健康診断の結果は6月下旬以降、K-SMAPY IIの学籍情報照会で確認できます。就職活動などで使用する健康診断証明書は、5月9日(木)から証明書自動発行機で発行可能です。

☎保健室(☎03・5466・0148)

博物館



料無料

時10~18時(最終入館17時30分)

※祝日を除く月曜休館

※博物館関連イベントの問い合わせは

☎03・5466・0359

春の特別列品

「恋とさすらいの系譜—源氏物語と平安文学」

源氏物語で光源氏の須磨流謫が叙情豊かに語られるように平安文学において主人公が流離する物語は、伊勢物語の昔男、竹取物語のかぐや姫など、繰り返し語られており、かなわぬ恋と結びつけられてきました。恋とさすらいは、どのように語ら

れ、後代の作品にどのような影響を与えてきたのでしょうか。本展では、本学が所蔵する平安文学関係の写本や絵巻等の展示を通して、源氏物語と平安文学における恋とさすらいの系譜をたどっていきます。

☎4月20日(土)~6月16日(日)※期間中展示解説のオンラインミュージアム公開

☎博物館企画展示室

イベント

30

若木育成会

「支部の集い」にご出席を

本学の学部・専攻科・別科在学生(外国人留学生を除く)の父母ら(保証人)を中心に組織される若木育成会では、「支部の集い」を5月中旬から開催します。本学の教職員が「大学の現状」についての報告と説明を行い、お子様の学修状況などについて個別にご相談いただけます。新入生の保証人の皆さまにとっては本学をお知りいただく機会となりますので、ぜひご出席ください。

☎・☎本学HP=二次元コード=参照
☎開催1カ月前ごろに案内状をお送りしますので、本学HPからお申し込みください。

☎校友課(☎03・5466・0131)



ソフトテニス部

国学院大学ソフトテニス部が2月24日に、渋谷キャンパスで創部100周年記念祝賀会を開催した。当日は、針本正行学長をはじめとした来賓と同部卒業生、在学生部員らが参加。本会では同部の昨年度の全国大会に

創部100周年記念祝賀会を開催

おける優勝・準優勝の実績がたたえられた。会のはじめにOBOG会長の小見勇さん(昭40卒・73期政経)が「OBOGが積み上げてきた歴史のもと、現役選手が常日ごろ努力を積み重ねた結果、素晴らし

い成果を出してくれた。今後もOBOG会としてもできる限りの支援をしたい」とあいさつし、続いて来賓あいさつの後、同部関係者らは練習や試合中の思い出話に花を咲かせるなど、懇親を深めていた。

柔道部

オーストリア グランプリ大会 羽田野選手が初優勝

国学院大学柔道部の羽田野啓太選手（健体3＝当時）が3月9日に、オーストリアのリンツで開催された国際大会「グランプリ アッパーオーストリア 2024」で、男子66kg級の日本代表として出場し見事に初優勝を飾った。羽田野選手は、昨年10月の世界ジュニア選手権大会でも男子66kg級で銅メダルを獲得。本大会はシニア大会での初出場となるが、シニアの選手にひるまずに挑み、最高の活躍を見せた。

本大会は、国際柔道連盟が主催する国際大会で、最上位のグランドスラム大会に次ぐ位置付け。5大陸78カ国から総勢500人を超える選手が参加し、男子66kg級には41人の選手が出場した。

羽田野選手は予選トーナメントでは、並み居る強豪を3戦連続のオール一本で制し勝ち上がった。続く決勝トーナメント初戦の準決勝戦ではロシアの選手と対戦し、試合開始2分34秒に一本勝ちで制した。

決勝戦はイスラエルの選手との激しい攻防が繰り広げられ、試合は延長戦に突入。長時間に及ぶ熱戦

の中、羽田野選手が5分54秒で大外返しを決め、技ありでグランプリ大会の優勝を決めた。



優勝した羽田野選手（左から2人目。同部提供）



独走状態でゴールに飛び込む青木選手／写真・月刊陸上競技

陸上競技部

日本学生ハーフマラソン 青木選手が優勝

第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会が3月10日に、東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、市街地を抜け国営昭和記念公園にゴールするコースで開催された。国学院大学陸上競技部からは12選手が出場し、青木瑠郁選手（健体2＝当時。以下同）が優勝、辻原輝選手（史1）は5位入賞を果たした。

10kmまでレースは全体的にスローペースで進む中、青木選手は14km過ぎに一気にペースアップし後続選手を引き離した。その後もペースが衰えることなく他大学選手を寄せ付けずに差を広げると独走状態で駆け抜けゴールテープを切り、1時間2分6秒のタイムで見事に学生日本一に輝いた。同部

からは、辻原選手も1時間2分37秒の好タイムで5位入賞を果たした。

本学の選手が同大会を制するのは、一昨年（第25回大会）での平林清澄主将（経営3）以来2回目。その平林主将は今年2月の大阪マラソンを学生最高記録・初マラソン最高記録で制した。さらに同部では2月11日に行われた宮古島大学駅伝2024で優勝し、2月25日に行われた第43回読売犬山ハーフマラソンで、野中恒亨選手（健体1）が優勝。3月3日に行われた第75回金栗杯玉名ハーフマラソン大会で上原琉翔選手（健体2）が3位、後村光星選手（健体1）が5位に入賞するなど好成績を残し、3大駅伝に向けて新チームはますます勢いに乗るところだ。

硬式野球部

東都大学野球春季リーグ開幕 第1週 投手戦での惜敗が続く

東都大学野球春季1部リーグが4月8日、神宮球場（東京都新宿区）で開幕を迎えた。国学院大学硬式野球部は、第1週の開幕カードは昨秋優勝の青山学院大学と対戦し、2戦続けての1点を争う投手戦の末、2敗でスタートを切った。

4月8日の青山学院大学との開幕戦は一回表2死二塁でのタイムリーヒットで1点を先制されるも、坂口翔颯投手（経営4）はその後、無失点で完投。二回、四回とランナー三塁のチャンスを作るも、1点の壁をなかなか越えられず、試合は0-1で惜しくも勝利に届

かなかった。昨年、U18日本代表（当時・横浜高校）で活躍した緒方漣選手（健体1）は7番DHで出場。四回でいい当たりを放つもレフトフライ、七回には送りバントを成功させるも得点チャンスには絡めず、初戦を終えた。

10日の同大との第2戦では、六回まで富山渚投手（経営3）が無失点で抑え、0-0のままの均衡した試合展開。五回に一・三塁のチャンスを作るも得点ならず、七回に1点を先制され、そのまま0-1で試合終了。開幕第1週を終えることとなった。



力投を見せる坂口投手